

平成27年度 地域のまち・絆づくり検討委員会 スケジュール(案)

資料3

第7回（5月1日）	第8回（6月上旬頃）	第9回（7月中旬頃）	第10回（8月下旬頃）	9～10月
中間とりまとめ （報告） ※公民館における地域コミュニティ支援機能について （現状報告）	最終提言に向けて協議			最終提言とりまとめ 提言
今後の検討課題 ※今後の進め方 ※将来像や具体的な先導的事業について検討				

(10月以降)

提言に基づく各種施策の実施検討

コミュニティの将来像

第9次福岡市基本計画(目標2 さまざまな支え合いとつながりができている)

- ・市民の身近な地域の課題やまちづくりに主体的に関わっており、公民館などの地域コミュニティ活動の場が有効に活用され、多くの市民によるさまざまな活動が行われています。
- ・交流と対話により、人と人とのつながりが育まれ、さまざまな人々が、共に支え合いながら元気に安心して暮らしています。
- ・地域コミュニティ、NPO、ボランティア、企業、行政など様々な主体が、それぞれの知恵やノウハウなどを持ち寄って共働しており、その相乗効果によってさまざまな社会課題を解決しています。

検討委員会の中間とりまとめ

○地域コミュニティの運営基盤の強化

- ①地域活動への参加者の増
- ②地域役員等の担い手づくり
- ③地域活動への負担の軽減

○住民主体のまちづくり

- ①自分の地域やコミュニティ活動への関心
- ②幅広い多くの地域住民の意見等の反映
- ③地域の実情・特色に応じたコミュニティ活動や運営

○強い絆の地域づくり

- ①今後の社会状況の変化(超高齢社会等)についての住民の理解促進
- ②自治会・町内会など小さなコミュニティから広がる強い絆の地域づくり
- ③地域住民の交流の「場づくり」等の推進
- ④各団体間のさらなる連携強化

今後の検討項目(案)

地域コミュニティの
あり方や役割分担

地域活動への企業参加
(ICTやコミュニティビジネスなど)

校区課題や
目標の共有

子ども・
世代間交流

地域カフェ

集合住宅

防災・防犯

…… など

最終提言(イメージ)

地域コミュニティの姿

取り組み

○地域コミュニティの運営基盤の強化

○住民主体のまちづくり

○強い絆の地域づくり

先導的な取り組み例

-
-
-

公民館における地域コミュニティ支援機能

1 公民館の役割

地域コミュニティ支援機能

福岡市公民館条例により公民館業務に「地域コミュニティ活動支援」を位置付け、地域のコミュニティづくりの「核」となる施設

生涯学習支援機能

社会教育法に基づき、教育、学術、文化に関する各種事業の実施により住民の教養の向上等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する施設

2 公民館における地域コミュニティ支援機能

施設（場）の提供

市民の自主的な
コミュニティ活動の場

自治協議会(事務スペース)、老人クラブ、体育振興会、こども会、青少年育成連合会、人権尊重推進協議会などの活動の場

地域交流、文化、
スポーツ活動の場

館内サークル活動、文化祭、夏祭り、地域カフェ等の開催の場

情報の発信

公民館だより

全ての公民館で月 1 回発行し、地域へ配布。
公民館の主催事業や地域ボランティアによる行事、地域団体の行事のお知らせや館内サークルの開催スケジュール等を掲載。

公民館ブログ

平成 27 年 5 月現在、40 館が開設。（全体の約 27%）
イベントの案内や実施事業の報告、自治協議会や館内サークルのお知らせ等を掲載。

その他 SNS（facebook）により情報を発信。

人的支援

地域団体
への助言等

公民館職員は、地域団体に対し、事業企画等に関する助言を行ったり、館区内の地域団体と行政機関等との連絡調整を行ったりしている。

人材育成・
人材発掘

地域活動ボラン
ティア養成講座

地域活動の担い手を育成するため、様々な取組事例をあげながら、地域の実態に応じたボランティア活動への広がりを図る。

地域リーダー
育成講座

地域コミュニティづくりの担い手の育成や人材の発掘等を目指し、地域の課題把握に関する学習機会を提供する。

地域人材発掘・
育成支援事業
（H24～）

自治協議会、行政と緊密に連携して、現役を退いた団塊の世代や地域ボランティアを目指す人、子育て終了者（PTA 活動経験者）などを対象にリーダー研修や講習会を実施し、住民主体の街づくりの担い手の発掘・育成を図る。

自治会コミュニティ
応援事業
（H26～）

自治会長・町内会長同士や公民館長との交流を図り、地域課題や課題解決の成功事例などを共有し、解決策を見出す機会となる事業を実施する。

主催事業による
支援

公民館は主催事業を企画し、実施することを通して、コミュニティ活動の活性化や地域課題の解決を支援している。

〈具体例〉

○子どもの健全育成関連事業

三世代（老人クラブ、町内会、こども会）での海岸清掃、公民館での宿泊研修等

○地域コミュニティ支援事業

傾聴入門講座（講座終了後、受講生による傾聴ボランティア発足）

テーマ別ゼミ（コーヒーの淹れ方や甘酒学習会等、事業を通して地域とつながるきっかけを作る）

○地域の実態に即した事業・社会の動向に対応した事業

熟年大学（高齢者の生きがいづくりの提供）、安全・安心まちづくり講座（防犯教室や、自主防災訓練等の安全、安心に関する学習講座）等

公民館は、市民に最も身近な行政機関として地域のコミュニティづくりの「核」となるため、地域団体への支援や地域交流の“場”を提供している。

(参考)公民館の変遷(コミュニティ支援機能の強化)

コミュニティ支援機能の強化

S
27
5

社会教育施設としての位置づけ

社会教育法に基づき、教育、学術、文化に関する各種事業の実施により住民の教養の向上等を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する社会教育施設として運営。

H
4

「コミュニティづくりへの支援」の必要性

福岡市社会教育施設調査研究委員会において、公民館の見直し事項の一つとして「コミュニティづくりへの支援」が提言された。

H
6
5

公民館の 150 坪化

地域コミュニティ活動を促進するため、公民館の延床面積を 150 坪 (496 m²) に整備。

H
12

地域コミュニティ支援機能の明確化

福岡市公民館条例の一部を改正し、公民館の設置目的として「地域コミュニティ活動の支援」を規定。

H
16

公民館のコミュニティ支援体制の強化

公民館を教育委員会から各区に移管し、コミュニティづくりの「核」となる施設として、区役所と一体となってコミュニティ支援を進める。

■企業と地域づくりについて

1. これまでに出了された意見など

環境、仕組みづくり

- ・地域で考えられる事業はやりつくした感がある。視点をえて活動を行うには「企業の協力」が必要だと考えているが、企業が地域活動に参加するためには、住民とは違ったエネルギーを持たないとやれないと思う。
- ・共働きの世代を巻き込むには、企業などと一緒にって取り組む必要がある。そのためには、条例をつくらないと無理かもしれない。自治基本条例の最初には、よく主体の責任と役割が書いているが、その時に「企業」を入れることが重要。
- ・企業人の中には、本当は地域活動やりたい人がたくさんいると思う。その中には、町内会長をやってもいいと思っている人がいるだろうが、実際、働きながらというのは、今の企業の実態ではおそらく無理。だから、地域活動を企業の活動として認める、そのかわり、町内に行ったらいろいろな人の話を聞いて、企業活動にもつながらうような環境をつくってやると、人材もどんどん増えてくると思う。
- ・会社に行っているても、「平日の何時間かは、地域活動することがでける」といった仕組みがあったら非常に有効だと思う。
- ・「コミュニティカンパニー」という形があってもいいのかなと思う。住民は、地域にある企業に意外に興味を持っている。企業にとってインセンティブやメリットを感じるものが必要。
- ・企業にとってはメリットがないとなかなか出てきにくいと思う。地域の中の事業所であれば、例えば地域ポイントなどの考え方もあると思う。そのポイントを、例えば、市との契約のときに利用できるようにするなど。

その他

- ・10年前は、自治協だよりもに整骨院や診療所を載せていたら「民間を何で掲載するのか」と怒られていたが、今はありがたがられている。
例えば地域カフェなどで、整骨院の方に話をしてもらおうと、聞きたい人がたくさんいるのでは。これも企業にとってのメリットであり、社会情勢の変化等により、そういう空気というか土壤ができてうような気がする。

2. 議論のポイント

- ・企業に望まれる地域活動の取り組みについて
- ・企業の地域活動への参加に対する地域の理解について
- ・企業参加のために望まれる市役所による支援について など

取り組みのイメージ

- ・地域にある企業、事業所などの話を聞く場を設ける
- ・地域活動を企業活動の一部とする環境づくり
- ・勤務時間中でも、社員が地域活動でける仕組みづくり
- ・企業がを行う地域活動に対するインセンティブやメリットの制度づくり など

3. 参考例

企業のCSR（企業の社会的責任）として貢献する

- ・ 夏祭り支援や地域スタンプラリーへの協力、地域行事への機器貸出し
地域イベントで企業や個人商店が店を出す
出店などに必要な機材の貸し出しや景品の提供 など
- ・ コンビニエンスストアの取り組み
日常の営業に関すること、災害時における協力などについて協定を締結
コンビニが駐車スペースの一部を地域活動の場所として提供 など

社員の地域づくりへの参加を促す

- ・ ふくやの取り組み
PTA や地域活動に参加する社員への「地域役員手当」の支給 など

地域づくりに貢献するビジネス活動

- ・ コミュニティカフェ
公民館、自治会、医療・介護事業者等で高齢者福祉を目的とする情報連絡会
地域にある喫茶店が地域住民を対象にしたカフェを開催
お茶をしながら手芸できるカフェを開催 など
- ・ 賃貸住宅事業者が行うコミュニティづくり活動
管理会社による入居者向けイベント開催や交流共用スペースの提供 など
- ・ 買い物支援
コンビニなどによる宅配サービス など
- ・ 安心・安全のまちづくり
専任の警備員を24時間常駐させる など

事例4 スタンプラリーで地域経済活性化を図る

後志管内 蘭越町商工会

事業名	らんこし「仮想はしご酒」
事業概要 商工会の役割	2時間以内にスタンプラリー方式で5店を回り、抽選会場にゴールする。 5店のスタンプがあることを条件に抽選会に参加できる。 また、仮装での参加者には、仮装大賞・特別賞があり、賑わいを増幅させている。
きっかけ	飲食店間の横のつながりと飲食店全体の顧客底上げに取り組むため、決められた飲食店を回ることにより、個店の魅力を発掘しリピーターの増加を目的とする。
効果	職場やグループでの参加により、新規顧客の取り込みと参加者相互の交流が図られた。 参加者からは「楽しかった」「もう1度開催してほしい」などの声が多数寄せられた。
今後の展望 (課題)	未参加の町民へのPRと町外の顧客獲得を図る。
活動写真等	 

事例5 ワンコイン商店街で地域経済活性化を図る

後志管内 蘭越町商工会

事業名	らんこし「ワンコイン商店街&スタンプラリー」
事業概要 商工会の役割	3日間の限定で参加店は500円の商品に限らず、100円や1,000円、業種によっては特価品でも良いという緩いルールで、各店3品程度の目玉商品を設定し、集客を促進する。 同時に5店舗回るスタンプラリーを実施し、相乗効果を図っている。
きっかけ	一昨年より100円商店街の可能性について議論したが、100円の商品では選定が難しいことから、100円以外でも参加店に合った自由な発想で町全体での共同売出しというイメージで実施することになった。
効果	通常売出しをしない店舗でも目玉商品を設定することにより、普段以上の集客と売上があった。また、50店舗以上の目玉商品を探し回ること、「ゲーム感覚で楽しめた」との声があった。
今後の展望 (課題)	今年初めての試みであり、不参加店やお客様に伝わらない点もあったが、次回は反省点を踏まえ、参加店の増加と開催回数を増やしていきたい。
活動写真等	 

蘭越町データ

人口: 5,107 人 世帯数: 2,334 (H26.2.28) 高齢化率: 33.5% (H25.3.31)
 商工業者数: 256 会員数: 185 組織率: 72.3% (H25.4.1)

掲載元: 北海道商工会連合会HP (H27.4.20)

献血を行いました

〕 kotabenow 〕 2014/06/15 〕 活動の記録 〕 Comments

5月19日月曜日の9:30～15:30に、南庄5丁目のミニストップ敷地内にて献血が行われました。
およそ40名の方に献血いただきました。ありがとうございました。



あなたの命で助かる命があります
献血から生まれる「愛の連鎖」が
輝く命を助けます。

献血

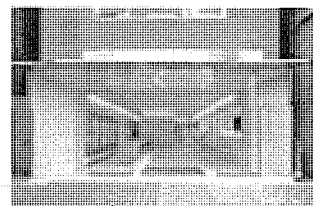
ご協力をお願いします！

日	5月19日 月曜日
時	9:30～12:00, 13:00～15:30
場	ミニストップ南庄5丁目店

県内では毎日約600人分の血液が必要です。
【主催】小田部校区献血推進協議会

福岡県赤十字血液センター 北九州赤十字
〒815-0863 福岡県北九州市小倉区小倉1-1-1 TEL:093-821-4400
〒814-0844 北九州市小倉南区小倉南1-1-1 TEL:093-421-1111

会社を支える社員の成長と幸せを大切にしたい



博多を代表する食を生んだ企業ならではの取り組み

福岡の味として知られる明太子を生み出した「ふくや」。「私たちが育ててくれた博多の街への感謝の気持ちを忘れず、この街とともに発展していきたい」と、創業時から経営方針のなかで地域貢献を掲げ、以来積極的に関わってきた。その取り組みの一つに、PTAや町内会の地域活動に参加する社員へ毎月支給される「地域役員手当」がある。地域貢献はもとより、仕事外の人と関わることでリーダーシップを養う目的も兼ね、男女を問わず利用が多い。

ふくやの両立支援の取り組みはこのような中から生まれ、「学校行事への参加奨励」は、勤務時間内に学校参観等への参加を認めるというもの。社員によっては半日の有給休暇を組み合わせ、参観の後はそのまますみと過ごす時間に充てるなど、男女ともに利用している制度だ。

「福岡県子育て応援宣言企業」第1号登録

「ふくやに入ったからには、定年まで働いてほしい。そのための支援は惜しまない」という経営者の想いに加え、社員の男女比が1:1という構成であるがため、女性の就業継続が可能な環境整備が会社運営に必要だった。2000年頃から、育児休業取得者を対象としたヒアリングを行い、保育所や家庭状況を考慮した6種類の勤務形態を導入。また、2003年には全国に先駆けて導入された「福岡県子育て応援宣言」を、どの企業よりも早く宣言し、第1号の登録証を受けた。

育児休業取得者を対象としたヒアリングは、育児休業に入る前と職場復帰約2カ月前に行われ、制度や休業中の

社名/株式会社ふくや
住所/福岡市博多区中洲2-6-10
電話番号/092-291-3575
URL <http://www.fukuya.com/>
業種/製造業、卸・小売業
創業/1948年

従業員数/214名
男女比/48%:52%
女性管理職数/2名
管理職男女比/87%:13%

女性活用ポイント

1. 育児休業取得前後のヒアリングと6種類の勤務形態

待遇や登用は男女平等だが、女性がいまだに家庭的責任を負っている場合が多く、育児休業制度だけでは働き続けられない現実がある。そのため、会社が社員のそうした状況を把握・理解し、保育所の送迎時間・休園日等を意識しつつ、家族の支援状況に応じた6種類の働き方を導入している。

2. 社員再雇用制度

6つの勤務体系でも両立が難しい場合、子育て中はパート勤務に切り替え、8時間勤務週休2日での勤務が可能となる時期に、社員として再雇用申請できる「再雇用制度」を併せて導入している。

株式会社ふくや
支援部人事課 マネージャー 山中 崇彦さん



給与、復帰後の勤務形態の説明のほか、エリア別の保育所事情など、直近の育休取得者から得た子育て情報を取りまとめて伝えるきめ細かな対応を行っている。復帰後は、夫の勤務時間や支援状況を鑑みて「土日祝日勤務あり・平日残業なし」「平日のみ勤務・土日祝日休日固定・残業なし」といった6種類の勤務体系から選択が可能。これによって、「仕事と家庭の両立ができない」ことが理由で退職する女性が減少し、2013年度は対象女性社員の100%が育休を取得した。「社員の成長と幸せを大切にしたい」という創業以来の経営者の想いが、他社に先駆け、女性の働きやすい環境づくりを進めさせた。

女性社員から



1988年の入社当時から、給与や処遇に男女の違いを感じたことはありません。社外研修で他社の状況を聞くにつけ、意欲や能力で平等に評価してもらえる自社環境は恵まれていると感じます。その分、私たち社員も生産性を上げ、業績アップに繋がれるようにしていきたいです。

営業部 お客様サービス室
稲田 磯美さん

掲載元: 公益社団法人 長寿社会文化協会HP (H27.4.20)

隠れ家ギャラリー えん



まちに溶け込む古民家カフェ

誰も使っていない古民家を活用してほしいという所有者の思いと、開設した服部浩太郎さんの気持ちが重なったことがきっかけとなり、10年程前に開かれた「まちの縁側」です。庭を歩いて玄関に行き、靴を脱いで上がるとギャラリー空間があり、奥にカフェ、その奥にイベントスペースがあります。内部は畳敷きになっていて、同じ空間にいる人がなんだか身近に感じられます。「コミュニティカフェとは言わないようにしている」とのこと。まちの縁側としていろいろな人が気軽にやって来れるよう、コミュニティを押し付けない気遣いがなされていました。

名古屋市南区呼続 1-10-23 / TEL: 052-822-7088 / 営業時間: 10:00 ~ 18:00 / 休: 月 / HP: www.kakurega-en.com

掲載元: 公益社団法人 長寿社会文化協会HP (H27.4.20)

FUTURO cafe+dining フツロ

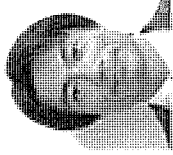


散歩道のお友達の家

オーナーのmakiさんは元有名ブランドのデザイナーで、東京での活動に区切りを付けUターン、地元の春日井を素敵にしようと、「私の部屋」感覚のカフェFUTUROを2003年に開設しました。空間も音楽も食もお客さんもセンシティブ。未来空間FUTUROをコンセプトに、まちの人々と様々な出合いを積み重ねています。2012年に新築移転した際に、散歩道沿いの休憩処になる敷地を探し、内津川に面して新FUTUROを作りました。お客さんは、散歩で寄ってお茶して、お友達のお家にいる感覚になれる「くつろぎコミュニティカフェ」です。

春日井市出川町 2-6-1 / TEL: 0568-29-7990 / 営業時間: 11:30 ~ 18:00 (土・日・祝 ~ 22:00) / 休: 火 / HP: interq.or.jp/dog/dogstar

「文化」をもつ建物にするのが「不動産管理業」の目標



吉原住宅 (有) 部長
吉原勝己氏 (福岡)

古い建物の「弱み」を「強み」に



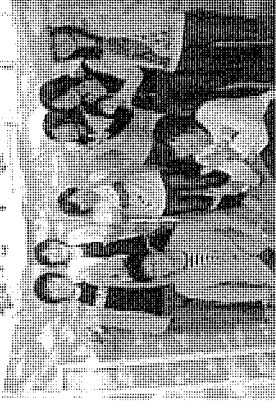
不動産管理を主な業務とする、吉原住宅 (有) (吉原勝己部長、福岡同友会会員) は、自社物件を自社管理した上で、米国の不動産管理の手法を取り入れることで同業他社との差別化をはかり、より高い顧客満足をめざしています。同社の歴史と比例して管理物件は古いものが多いが、ともすれば「弱み」にもなるものが、さまざまに取り組みで、むしろ「強み」にしているというユニークな試みをおこなっています。

吉原氏は1961年に博多の中心部清川で生まれ、地元小中学校、高校・大学を経て、東京の大手企業医薬品開発部門の仕事を置き、多くの得がたい人との出会いとあわせて、「薬は情報のかたまり」という学びもありました。

事業継承のため帰国後、2002年に同友会に入会。積極的に参加し、最も学んだことは、経営革新の必要性とそこにかける会員の方々の思いや取り組みでした。多くの交流を通じて会員同士のコラボレーションにもつながるとともに、現在所属している南支部の経営革新委員長として、若手リーダーの1人になって活躍しています。

活動テーマは「不動産」「再生」「コミュニティ」「街の活性化」「産学連携」

吉原住宅 (有) の活動テーマは、「不動産」「再生」「コミュニティ」「街の活性化」「産学官連携」の5つに整理することができます。



「再生」では、古い建物でも最新のハード (技術) とソフト (アイデア) を用いれば、壊さずに再生でき、逆に古いことがよい特徴になりうる可能性があることを重視。現在「リノベーション賃貸 (再生デザイナーズ賃貸マンション)」に、同友会会員の他業種の方と連携して取り組んでいます。

「コミュニティ」としては、賃貸ビルの価値や使い心地は、ハード (設備) よりむしろ入居者間の連携にあるとして、天神パークビルでは1階に「エントランスカフェ」を開き、屋上緑化と開放にも取り組み「ビオトープ (自然生態系の構築)」をめざすなど、入居者のコミュニケーションを図っています。

「街の活性化」については、建物はその「土地の文化」の発信基地と位置づけ、簡単に壊さずに活用することで環境問題もあわせて取り組んでいます。建物は「不動産」というように動かせないため、どんな地域に立っているかでその価値は変わります。地域活性化に取り組むのは必然の流れとして積極的なかわりを続けています。

最後に「産学連携」においては、特にデザイン系学生によるスペースリファインプロジェクトを通じて古い物件の再生の試みやアートイベントを企画するなどユニークな試みも続けています。 (この取り組みは、屋上利用提案競技2006において「優秀賞」を受賞しました。)

建物は引継ぎ、受け継いでいくものという文化を

2005年末に明らかになった、建物耐震強度偽装事件をみても、従来建築の発想は、何年先に「壊すか」という発想が主流でしたが、欧州の建物の発想は引継ぎ、受け継いでいくものという文化になっています。不動産を考える上で避けて通れない「利回り」という点から見ても、今後新たな価値観として広がっていくことが期待されます。

●会社概要

- ・ 創業：1965年
- ・ 従業員数：7名 (内パート3名)
- ・ 資本金：500万円
- ・ 年商：1億8000万円



コンビニから宅配サービス ローソンと佐川急便が「暮らしサポート」

2015/4/ 7 16:08

コンビニエンスストア大手のローソンと宅配便大手の佐川急便を傘下にもつSGホールディングスは、コンビニの商品を家庭まで届ける宅配サービスで提携すると、2015年4月7日に発表した。

ローソンの店舗半径500メートル内の小商圈での配送と御用聞きサービスを展開する共同事業会社「SGローソン」を設立。東京都世田谷区を中心とした約20店舗で新サービス「SGローソン マチの暮らしサポート」の開始を検討する。

「マチの暮らしサポート」は、顧客の不在時に宅配された荷物をローソンの店頭で受け取ることができるサービスや、専任配送担当者が顧客の自宅へ直接荷物を届けるサービスのほか、ローソン店頭で販売する弁当類などの商品やネット宅配「ローソフレッシュ」の商品と一緒に届けるサービスを展開。高齢者や働く女性の買い物需要を取り込む。

2015年度中に東京都内約100店舗へサービスを拡大する予定。

新会社はローソンが51%、SGホールディングスが49%を出資して、6月にも設立。シニア層や主婦層を宅配スタッフとして新たに採用し、人材活用に取り組むことも検討する。

Copyright (c) J-CAST Co.,Ltd. 2004-2015. All rights reserved.

Security

九州初のタウンセキュリティ

掲載元: 西部ガスリビングHP (H27.4.24)



いつもの警備員が、いつも見守り、安心安全をつなぐ。
九州初の24時間常駐型タウンセキュリティを導入。

街が安全なら、家も公園もすべてが安全。タウンセキュリティのこの理論に共鳴し、
「照葉スマートタウン」では防犯の基地を設けて警備員が常駐するタウンセキュリティを導入しています。

■確かなコミュニティこそ、タウンセキュリティの基盤。

コミュニティが豊かなまちは、それだけで防犯性に優れたまちと言えます。ふれあいを尊重するまちづくりをテーマにした「照葉スマートタウン」では、警備員だけではなく、住民すべてがセキュリティの目となり、挨拶や声かけを実行する人間らしい安全安心のカチがあります。

■まちのすぐ側に、安心安全の基地がある。

「照葉スマートタウン」の近くに、まち全体を守る選任の警備員が常駐する「24時間常駐型待機所」を設置しています。各住戸・建物などに異常が発生すると、警備員が直ちに出勤。住まう人の安心感と犯罪への大きな抑止効果を発揮しています。

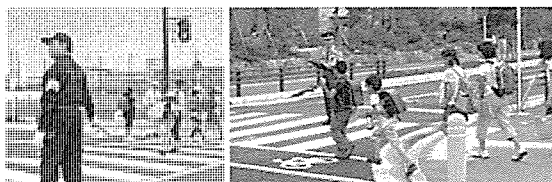
■見通しの良い安心安全な街づくりを徹底。

要所要所に設けたフットパスは、それぞれの住まいの前のコミュニティ道路につながり、街中に見通しの悪い死角となる場所が少ない計画としています。街に住む方々の目が届きやすく、見通しの良い街区構成となることで犯罪の抑止につながります。確かなコミュニティとタウンセキュリティ、そして街づくりへの配慮が行き届き、暮らしの安心安全を幾重にも備えた街です。

子どもたちを守る、安心の通学サポート。

警備員による巡回パトロールもきめ細やか。小中学校の子どもたちの登下校時に合わせて通学のサポートを行うと共にパトロールも強化しています。また、住民情報に対応したパトロールを行うなど、まち単位でフレキシブルに対応できるのが、タウンセキュリティの魅力のひとつです。

街づくり協定

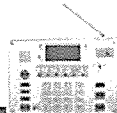


掲載元: 西部ガスリビングHP (H27.4.24)



■タウンセキュリティにプラスして、 全ての戸建住宅にホームセキュリティを導入。

従来のホームセキュリティサービスと生活コンビニサービスを兼ね備えた充実のサービス体制を完備。24時間フルタイムで、安全・快適な暮らしをサポートします。



困った時、コミュニケーションボックス(写真裏)の相談ボタンを押すと、24時間いつでも生活コンビニ「暮らす名人」受付センターのオペレーターと会話することができます。

「暮らす名人」受付センター 365日・24時間受付OK!